～～第７９８０回～～
木曽駒ケ岳－空木岳
～Ｈ２８．７．２３－２５～
1 日目　富士宮 6:00 出発。今回の夏山は昨年天候不順でキャンセルになったリベンジ山行だけに会員の期待は大きい。精進湖道路、中央自動車道を通過し、駒ヶ根 IC を出てバスターミナルに向かう。駐車場は満車で第 2 駐車場に移動し、身支度を済ませ、しらび平までｽﾊﾞｽに乗る。しらび平からは約 8 分間のﾛｰﾌｳｪｲで千畳敷に移動。すでに雲の上である。遊歩道を楽しむ人、木曽駒ケ岳へ登る人等でカールの辺りは賑やかであった。私達はストレッチで体をほぐし、遊歩道から八丁坂へ向かう。傾斜はきついが整備されているので比較的歩きやすい。高山植物も見頃で目を楽しませてくれる。乗越浄土との中間辺りで昼食をとり再び急登にとりつく。左手に明日登る宝剣岳、右手に伊那前岳が青空の中に聳え立っている。乗越浄土に到着し、宝剣山荘にて受付を済ませ、宿泊は天狗荘と決まる。1 部屋が与えられ、この時期にしては贅沢すぎる位の待遇だ。部屋に荷物をデポして駒ケ岳を往復。巻道は危険との事なので中岳経由となる。夕食(17 :00)までの時間を部屋で歓談し 19:30 就寝。
2 日目　4：00 起床、4：30 朝食、宝剣岳へ向けて 5：30 出発。きょうも天気はよさそうだ。登りだしてすぐに鎖場となる。高度感もあるがしっかりと 3 点支持を守り慎重に進む。ほどなく山頂に着くが、混雑しているので通過し、その分岩場をゆっくり極楽平に向かう。緊張の連続だ。極楽平からも鎖場はあるが、緩やかな稜線もあって「来た道」「行く道」を眺めながら縦走ならではの稜線歩きが楽しめる。檜尾岳手前にて男性群はお弁当、女性群はアルファー米とそれぞれ昼食をとる。三ノ沢岳が次第に後方になるころ檜尾岳に到着。檜尾避難小屋もしっかり確認できる。少しの休憩をとって出発。しばらく緩やかなアップダウンを繰り返し、熊沢岳、東沢岳を越えた。目の前の空木岳がだんだんと大きくなり、急な坂を下り始めると木曽殿山荘が真下に見えてうれしかった。夕食(17：00)までの時間を片道 10 分かかって水場へ水汲みに行く。疲れた足にはきつい。小屋の状況は 2 階の大広間に 30 人位。以前ここで 1 枚の布団に 3 人で寝たという話を聞いていたから心配したがゆったり寝る事ができた。20：00 就寝。
3 日目　4：20 起床、5：00 朝食。きれいな日の出を見て、5：30 に木曽殿山荘を出発。いきなりからの急登に喘ぎながら山頂を目指す。通過時間を書くのも忘れ、仲間を励まし、ピーク 1、2 の岩場を慎重に越え、往くてに山頂が確認できた時はほっとした。7：20 空木岳山頂到着。遠く槍ヶ岳、御嶽山、乗鞍岳を望む山頂でしばし満足感に浸り、駒峰ヒュッテ方面に下山。池山尾根の樹林帯に入ってからも小地獄、大地獄の鎖、階段をしっかりつかまって難所を通過。次第に道も緩やかな遊歩道となってはいるが、林道最終駐車場から菅の台までも長かった。バスターミナルに着いて車を回収し、「こまくさの湯」にて汗を流し、帰路に着いた。
参加者：7 名（富士宮 6、静岡東 1）

天候：晴れ
地図：木曽駒ケ岳・空木岳
コースタイム :富士宮 600＝菅の台 P905…第 2 駐車場 P920＝しらび平 950＝千畳敷 1010-30…昼食…乗越浄土 1155…宝剣山荘 1215…天狗荘 1225…中岳 1240…頂上山荘 1255…木曽駒ケ岳 1315-35…中岳 1355…天狗荘 1410-530…宝剣岳 550…三ノ沢岳分岐 630…極楽平 650…にごり沢大峰 820…昼食…檜尾岳 1045…熊沢岳 1310…東沢岳 1500…木曽殿山荘 1540-530…空木岳 720-40…駒峰ヒュッテ 750…駒石 800…小地獄…大地獄…マセキ平 1115…尻無 1120…池山山荘入口 1150-1200…菅の台 P1410＝富士宮 1845
＜宝剣岳・天狗荘＞
宿泊料金：¥8700（1 泊 2 食）お弁当¥1000　水は無料
トイレ：宿泊棟の続きにありきれい
食事：宝剣山荘に移動　夜＝ご飯・味噌汁・揚げ物・漬物　朝＝ご飯・味噌汁・海苔・卵焼き・花豆・漬物
＜木曽殿山荘＞
宿泊料金：¥8500（1 泊 2 食）水は片道 10 分の水場で確保
トイレ：宿泊棟の外にありきれい
食事：夜＝山菜ご飯・味噌汁・おでん　朝＝味噌汁・ごはん・海苔・漬物・ふりかけ・梅干
＜その他＞
菅の台からバス・ロープウェイ代¥2030、駐車料金¥600
記録：富士宮支部　石川

宝剣岳

南木曽岳